

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2023 年 6 月 1 日

岐阜県知事 殿

提出者 イビデンエンジニアリング株式会社

住 所 大垣市木戸町1122番地

氏 名 代表取締役社長 西田 剛

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0584-75-2301

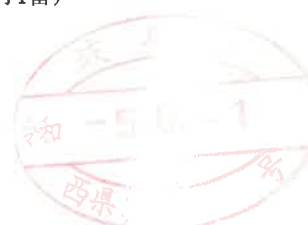
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	イビデンエンジニアリング株式会社
事業場の所在地	大垣市木戸町1122番地
計画期間	2022年4月1日から2023年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	06 総合工事業
② 事業の規模	売上高 194億円
③ 従業員数	380人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	水処理に伴う産業廃棄物 ・酸、アルカリ：自社で中間処理、汚泥の業者へ委託埋立処分 ・汚泥：業者へ委託埋立処分 ・建設工事等に伴う廃棄物 ・木くず：業者へ委託、中間処理後再資源化 ・廃プラスチック：業者へ委託、中間処理後再資源化 ・ガラス：業者へ委託、中間処理後再資源化

（日本産業規格 A列4番）



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

経営管理本部長

環境技術事業部 産業廃棄物責任者

ファシリティ事業部 産業廃棄物責任者

精機事業部 産業廃棄物責任者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	別紙のとおり t	t
	（これまでに実施した取組） 汚泥の発生量の削減 金属くず分別し、有価化 廃プラスチック類分別し、再資源化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	別紙のとおり t	t
	（今後実施する予定の取組） 継続		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 金属、廃プラスチック、木くず、ガラス陶器、電池、廃電気機器類 金属くずの有価化 廃プラスチック、ガラス、紙くずの再資源化
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 継続

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 自社中和処理		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 継続		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	別紙のとおり t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙のとおり t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	プラスチック容器の再利用の分別		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 硬質プラスチック容器とペットボトルの単一集荷		
※事務処理欄			

(第6面)

備考	<p>1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。</p> <p>2 当該年度の6月30日までに提出すること。</p> <p>3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。</p>
請 じ ま ま と。	<p>(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。</p> <p>(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。</p> <p>(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。</p>
中 間	<p>4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。</p>
量 行 収 あ へ	<p>5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。</p>
と の 入	<p>6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。</p>
	<p>7 ※欄は記入しないこと。</p>

2022年度の産業廃棄物発生量(実績)及び2023年度の目標

(單位: t)

産業廃棄物の種類		汚泥	建設汚泥	腐ブラ	ガラスく	木く	金属く	コンクリートく	炭油	紙く	廃酸	建設混合廃棄物	生定混合廃棄物	廃電気機類	省型混合廃棄物	蓄電池類	引火性廃油	有害汚泥	有害溶剤	有害アルカリ	合計	
①現状	排出量	前年度実績	929.1	8.9	60.6	5.5	22.1	15.5	1666.1	3.3	12.0	0.7	9.3	0.7	0.8	4.0	0.1	0.7	14.9	18.5	1668.1	4341.8
②計画	排出量	目標	789.8	7.5	51.5	4.8	18.8	13.2	1416.2	2.8	10.2	0.6	7.9	0.6	0.6	3.4	0.1	0.6	12.7	15.7	1333.7	3690.5
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項																						
①現状	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	前年度実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
②計画	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	目標	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項																						
①現状	自ら中間処理を行った産業廃棄物の量	前年度実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	前年度実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1562.5	1562.5	
②計画	自ら中間処理を行う産業廃棄物の量	目標	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	目標	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1328.1	1328.1	
自ら行う産業廃棄物の埋立処分に関する事項																						
①現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	前年度実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
②計画	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	目標	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
産業廃棄物の処理委託に関する事項																						
①現状	全処理委託量	前年度実績	929.1	8.9	60.6	5.5	22.1	15.5	1666.1	3.3	12.0	0.7	9.3	0.7	0.8	4.0	0.1	0.7	14.9	18.5	8.6	2778.4
	優良認定処理業者への処理委託量	前年度実績	866.6	0.0	18.3	0.0	6.9	13.1	0.0	3.1	12.0	0.7	9.3	0.4	0.8	4.0	0.1	0.7	14.8	18.5	6.6	976.1
	再生利用業者への処理委託量	前年度実績	866.6	0.0	0.0	5.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	872.1
	認定熱回収業者への処理委託量	前年度実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	前年度実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
②計画	全処理委託量	目標	789.8	7.5	51.5	4.8	18.8	13.2	1416.2	2.8	10.2	0.6	7.9	0.6	0.6	3.4	0.1	0.6	12.7	15.7	5.6	2362.5
	優良認定処理業者への処理委託量	目標	736.6	0.0	15.6	0.0	5.7	11.2	0.0	2.7	10.2	0.6	7.9	0.3	0.8	3.4	0.1	0.6	12.7	15.7	5.6	829.5
	再生利用業者への処理委託量	目標	736.6	0.0	0.0	4.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	741.2
	認定熱回収業者への処理委託量	目標	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

